

地域社会

NGKグループは、各国・地域の社会的課題に関心を持ち、地域に信頼される企業市民であることを目指して、各地のニーズに応じた社会貢献活動に取り組んでいます。

■ 地域社会への基本的な考え方

NGKグループは、以下のような考え方のもとで、社会貢献活動を推進しています。

活動の軸

「人・教育」、「環境」、「地域との関わり」を主要な活動軸とする。

会社活動と従業員の関わり

- 従業員に活動を体験/実感できる機会を提供する。
- 従業員の満足感、会社への信頼感を醸成するために、会社が個人活動を積極的に認める。

情報発信

活動内容の理解を促進し、従業員に社会貢献マインドが浸透するよう活動情報を提供する。

社会貢献活動の推進体制

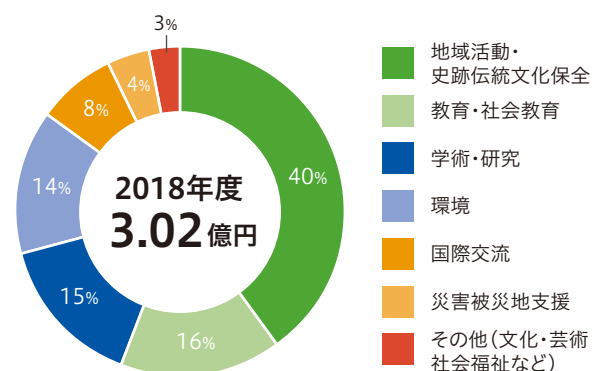
NGKグループの社会貢献活動は、CSR委員会のもと総務部長が分科会長を務める社会貢献推進専門分科会を中心に推進しています。

各地で実施した社会貢献活動に関する情報は、国内外のグループ会社の社会貢献活動通信員から収集しています。2018年度は、61件の活動報告がありました。

<社会貢献活動の推進状況>

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
社会貢献支出額	3.31億円	3.46億円	3.15億円	3.00億円	3.02億円
社会貢献プログラム数	8件	9件	10件	10件	10件
NPO/NGOとの協働件数	5件	4件	4件	4件	4件

<活動の内訳>



留学生への奨学、生活支援

日本ガイシは、国際社会の発展に貢献する人材育成への寄与を目的に、一般財団法人日本ガイシ留学生基金を設け、日本を訪れる海外からの留学生に対する宿舍提供や奨学金支給を柱とする支援活動を続けています。

この活動は、1930年代から日本ガイシが世界へ進出した際、海外へ赴任した従業員やその家族が現地で温かい支援を受けたことへの感謝の気持ちから始まったもので、日本で学ぶ留学生たちにも「日本へ来て良かった、日本を好きになった」と思ってもらえるよう努めています。

2018年度は11カ国39人に宿舍を提供、12カ国19人に奨学金(給付型)を支給しました。



参考 URL 一般財団法人日本ガイシ留学生基金
<https://www.ngk.co.jp/sustainability/philanthropy/>

支援留学生と地域社会、従業員との交流

支援留学生と地域の方々や従業員との草の根国際交流の機会となる各種の行事にも取り組んでいます。留学生が講師を務める語学講座を2000年から、留学生が母国を紹介する異文化交流会を2006年から毎年開催しています。

2018年度は、各国の留学生が毎回交代で母国を紹介する異文化交流会を8回実施。留学生と地域住民との良い交流の機会となりました。2018年度までの参加者は、約980人となります。

<留学生と地域住民の参加者数>

留学生	12人
地域住民	20人

支援終了後のコミュニケーション

支援終了後も支援留学生との関係を維持するため、OB・OGを含む留学生に、近況報告を兼ねた年賀状を送っています。

また、支援が終了した留学生には、当社の連絡先を記載した「NGKインターナショナルフレンドシップクラブ」のメンバーズカードを配布しています。

2018年度は財団や日本ガイシのトピックスを掲載した年賀状を支援が終了した留学生を含む約300人に送付しました。

■ 地域社会、NPOなどと協調した社会貢献活動

日本ガイシは、地域に信頼される企業市民であることを目指し、地域社会やNPOなどと協調して、地域のニーズに応じた社会貢献活動に取り組んでいます。また、国内外のNGKグループ各社でも、従業員ボランティアを中心に、それぞれの地域に根付いた社会貢献活動を行っています。

参考
URL

その他の社会貢献活動については
ホームページをご覧ください。
<https://www.ngk.co.jp/sustainability/social/>

日本ガイシの社会貢献活動

■ 陸前高田市の中学生の職場体験に協力

日本ガイシは、名古屋市教育委員会が行う陸前高田市の中学生の職場体験に協力しました。

訪れた同市の中学生2人はAC工場内を見学した後、ハニセラムの窯詰め作業などを体験。最後に社長室を訪れ、大島卓社長に職場体験の感想や今後の抱負などを伝えました。

東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市に対して名古屋市が行っている「丸ごと支援」に基づき、2016年から毎年実施しています。



■ ふれあい給食サービス事業に協力

日本ガイシの社員が、御鞆コミュニティセンター（名古屋市瑞穂区）で一人暮らしの高齢者を対象に行われた「昼食会・お楽しみ会」にボランティアとして参加しました。この昼食会は、瑞穂区の学区地域福祉協議会が「高齢者ふれあい給食サービス事業」として定期的に開催しているもので、日本ガイシは22年前から毎年このイベントに協力しています。



国内グループ会社の社会貢献活動

■ 「みね桜まつり」にボランティアとして参加 (NGKエレクトロデバイス)

NGKエレクトロデバイスが、「みね桜まつり」にボランティアとして初めて参加しました。

このまつりは、美祢市役所横の厚狭川河川敷沿いに続く桜並木が人気で31回続いています。参加した社員は駐車場看板の設置や来場者の問い合わせ対応、会場の片付けなどを行い、運営をサポートしました。



佐久平駅のウェルカムフラワー設置に協賛 (双信電機)

双信電機は、JR佐久平駅へのウェルカムフラワーの設置に協賛しました。

この取り組みは、佐久市観光協会、佐久平総合技術高等学校が主催で毎年実施しており、今年は3回目となります。

今回の設置では、観光協会関係者や、種まきをした佐久平浅間小学校の4年生30人、花を育てた佐久平総合技術高等学校の生徒10人と協力し、設置作業を行いました。



高齢者施設の避難訓練に協力 (双信パワーテック)

双信電機のグループ会社、双信パワーテック(宮崎県都城市)の社員2人が高齢者総合支援センターの避難訓練に協力しました。この避難訓練は、地域住民や近隣企業、公共団体などの協力のもと、半年に一度行われているもので、双信パワーテックは地域貢献活動の一環として毎年協力しています。



西日本豪雨災害の被災者支援に義援金 (NGKセラミックデバイス)

NGKセラミックデバイスの社員会である五反田会は西日本で発生した平成30年7月豪雨の被災者支援のため、社員から寄付を募り、本社・山梨工場・石川工場の3拠点併せて30万円を寄付しました。被災地と被災者の皆さまの一日も早い復興をお祈り申し上げます。



ミズバショウ群生地の保全に協力 (NGKオホーツク)

NGKオホーツクは、ミズバショウ群生地の保全に取り組む「網走湖・水と緑の会」の活動に協力し、群生地の整備を行いました。

春と夏の年2回に行われるこの活動は、網走湖畔に広がる約5,000㎡のミズバショウ群生地の景観維持と湿地帯環境保全を目的としています。NOKの参加は今年で9年目となり、網走市民と協力しながら地域の環境保全に努めています。



海外グループ会社の社会貢献活動

献血活動に協力 (NGKグローブトロンクステクノロジー)

NGKエレクトロデバイスの海外製造拠点の一つ、NGKグローブトロンクステクノロジー (NGKGT) が、社内で献血活動を実施しました。

NGKGTでは、社会貢献の一環として20年前から年に1回献血活動を行っています。



町の環境美化に貢献(NGKメタルズ)

NGKメタルズの社員有志が、自社のあるテネシー州モンロー郡の花壇の整備活動を行いました。

花壇周辺の草刈りのほか、花の植え替えを行いました。今後も定期的に清掃や整備を実施し、新たな草花の成長を皆で見守り、町の環境美化に努めます。



社員旅行中に清掃活動を実施 (NGK(蘇州)熱工技術)

NGK(蘇州)熱工技術が社員旅行中に、浙江省寧波市の名勝地、五龍潭で清掃活動を実施し、景観保全に努めました。社員旅行で清掃活動を行ったのは今回が初めてで、今後もできることから社会貢献活動を継続していきます。



清掃活動を実施 (NGKエレクトロデバイスマレーシア)

NGKエレクトロデバイス(NGKMY)の海外製造拠点である、NGKエレクトロデバイスマレーシアが清掃活動を実施しました。この活動は、社員の社会貢献に対する意識を高めようと、NGKMYがペナン市役所に協力を要請し、今回初めて実現したものです。

「私たちの地球を守る」というテーマのもと、参加者はペナン市の最高層ビル、KOMTAR※(コムタ)周辺のごみ拾いなどを行いました。

※Kompleks Tun Abdul Razakの略



■ 従業員のボランティア活動に対する支援

NGKグループでは、従業員が社外ボランティアに参加するきっかけをつくるため、活動への積極的な支援や情報提供を行っています。

子どもに科学の楽しさを伝えるサイエンスボランティア

日本ガイシは、ものづくりに携わる企業として、次世代を担う子どもたちに科学の楽しさを伝えるための情報を発信しています。1997年から科学雑誌に「NGKサイエンスサイト 家でできる科学実験シリーズ」の連載を開始し、ホームページにも専用サイトを設け、毎月更新しています。

専門家の監修による科学実験を、ペットボトルや乾電池、野菜や調味料など、身近にあるものを使用する詳細な手順やトピックスとともに紹介し、子どもたちの興味を喚起しています。

また、1998年から毎年、「青少年のための科学の祭典・名古屋大会」(主催:日本科学技術振興財団ほか)などの地域の科学イベントに実験ブースを出展し、従業員ボランティアがNGKサイエンスサイトの実験を紹介しています。



参考 URL **NGKサイエンスサイト**
<https://site.ngk.co.jp/>

科学の面白さを伝えるクリスマス・レクチャー

日本ガイシは、科学の面白さを子どもたちに伝える科学イベント、英国科学実験講座「クリスマス・レクチャー」(読売新聞社主催、東京工業大学共催)に2011年から協賛しています。このイベントは約200年前から英国で、科学者から青少年へのクリスマスプレゼントとして毎年開催されてきた伝統ある人気のレクチャーを日本で再現したもので、ゲスト講師として登壇する社員が毎年のテーマに合わせて当社製品の特長を子どもたちや学生に分かりやすく紹介しています。



マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019に団体ボランティアとして参加

NGKグループは、3月10日「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019」に団体ボランティアとして参加しました。

NGKグループでは5年前から継続してこのボランティア活動を実施しており、今年もランナーへの給水やコース整備などを通して、大会の運営に協力しました。



地域社会との交流

NGKグループは、工場見学や地域イベントなどの機会を通じて地域の皆さまとの交流を活性化するとともに、直接対話の機会を設けていただいたご感想やご意見を当社グループの事業活動やCSR活動に生かしていくよう努めています。

工場見学の開催

2018年度に開催した工場見学会(日本ガイシ)

	参加人数	詳細
名古屋事業所	31人	日本ガイシ留学生基金
	28人	愛知県立時習館高等学校
	3人	陸前高田市立高田第一中学校
知多事業所	53人	地域住民工場見学会
小牧事業所	3人	愛知県立春日井西高等学校
	13人	近隣区長見学会
石川工場	41人	石川県立工業高校
	5人	豊橋技術科学大学

主なグループ会社の工場見学会

	参加人数	詳細
NGKエレクトロデバイス	23人	山口大学
	31人	山口県美祢市立大嶺中学校
	38人	美祢青嶺高校
	34人	小野田工業高校
双信電機	29人	双信電機千曲技術センター(長野県佐久市)地域のPTA
双信パワーテック	3人	山之口中学校
双信デバイス	40人	宮崎工業高等学校

TOPIC

小牧事業所と石川工場で「夏まつり」を開催

小牧事業所は、毎年恒例の「こまき夏まつり」を開催し、近隣住民や社員の家族らが来場しました。

特設ステージでは、和太鼓の演奏や科学実験ショー、歌謡ショーが行われ、来場者の注目を集めました。また、祭りの最後にはお待ちかねの抽選会が実施され、会場は大いに湧きました。

石川工場も「日本ガイシ石川工場夏祭り2018」を開催し、近隣住民や社員の家族たち約850人が来場しました。特設ステージでは、地元ダンスチームの迫力あるダンスに加え、地元石川県出身の歌手やアイドルグループによるパフォーマンスで大盛り上がり。恒例の抽選会では豪華景品の登場で会場が熱気に包まれました。



こまき夏まつり



日本ガイシ石川工場夏祭り2018